

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ保内

(ユニット名) B棟

記入者(管理者)  
氏名 岡田 奈美

評価完了日 平成 19 年 5 月 31 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は作っているが設立当初のままで具体的な内容が入っていない。		話し合いをし理念の書き換えを行う。
			(外部評価)		
			利用者がその人らしく生活を送ることを支援するための理念が作られている。		今後、事業所と地域との関係をさらに深めていけるよう、事業所が目指すことを理念に採り入れていくよう計画を立てておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を念頭に置き支援しえているスタッフもいれば、そうでないスタッフもいる。十分に共有できていない。		チームワークをとり、理念に基づいて実践に向け取り組むよう努める。
			(外部評価)		
			スタッフ会議等で話し合う際に理念に立ち戻り話し合いをされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族・地域との交流が少なく、地域でも施設そのものを知らない方が多い。		地域の行事や町のボランティア協会を利用するなど外部に入ってもらい知って頂く。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) あいさつをする程度で隣近所との付き合いや触れ合いは少ない。		日中、外出を増やし、出会った隣近所の人に挨拶をするよう心がける。施設を知ってもらうよう努める。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 祭り・清掃活動には参加している。それ以外では、なかなか機会がもてていない。 (外部評価) 夏の納涼祭にはボランティアの方の協力を得ておられる。保育園児の声をカセットテープに録音したものをいただいた。そのお礼に利用者の方が、手紙を書いて送られた。		地域行事や活動にもっと参加し交流を深めるよう努める。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者まで目を向ける機会がなく話し合いは行っていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価をサービスの見直しの機会としているスタッフは多い。少しずつ改善に向け取り組みを行っている。 (外部評価) 自己評価を職員個々で行い、全体で話し合い、まとめられた。前回の外部評価時に計画されていたホーム便りを作成し、ご家族の来訪時や運営推進会議時に見ていただいている。ご家族からいただいたブルーベリーの苗をご家族と一緒に育て、関係作りに努めておられる。		今後、評価結果を活かしていくために改善計画書を作成して、取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			参加者の紹介でボランティアの方に来ていただくことができた。		
			(外部評価)		
			出席いただいた方達に事業所の印象等を聞かせていただいたり、地域のお年寄りのことや地域とのかかわりについて公民館長の方や児童民生委員の方より説明や意見をいただいた。		さらに、今後、地域の協力への働きかけをすすめていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村担当との行き来は管理者が行っており十分にスタッフに情報が伝わっていない。管理者は市の担当者との情報交換が行えている。		
			(外部評価)		
			市の担当者の協力を得て、市内グループホーム連絡会議を行っておられ、介護保険のことや事業所での取り組みについて、話し合いを行っておられる。また、市へ要望を出す機会にもなっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			数人のスタッフは研修会に参加しているが、十分な理解や話し合いができていない。		勉強会行う必要がある。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			資料などで確認しているが十分な話し合いが行えていない。		何が虐待になるか日々見直し、意識付けが必要である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が家族など十分な説明を行い理解、納得を図っている。		管理者だけでなく、スタッフもある程度内部のことを理解し説明できるようにする。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見はスタッフ会で話合うようにしている。介護相談員が月1回程度来所し、会話をする機会がある。職員もなるべく利用者の苦情や不満を汲み取れるよう心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月新聞発行を行い、ホーム内や利用者の様子を報告している。 (外部評価) ホーム便りをご家族に送付し、事業所全体の取り組みをお伝えして、喜ばれている。体調の変化等については、ご家族に電話等で随時伝えておられる。遠隔地にお住いのご家族は、緊急時には、事業所に近い親戚に連絡することを依頼されている方もおられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に苦情ボックスを設置している。また面会時に家族より意見を聞く機会をもうけている。不満、苦情が出たらスタッフ会・申し送りで話し合っている。 (外部評価) ご家族からの意見や要望は、職員に直接伝えられているようである。出していただいた意見や要望は、連絡ノートで全職員が確認することとなっている。事業所で開催されている納涼祭は、ご家族同士が交流する機会にもなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) スタッフ会で個々の意見を出し合っているが1対1での意見や提案を聞く機会がない。		年2回の面接以外にも管理者から声を掛け意見を聞く場を作っていく。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) スタッフ間で勤務時間の調整に理解し決められた人数で行っている。また、行事、外出時は勤務者を増やし対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は事務的に行われ、入居者へのダメージはあるが、声掛け等でフォローしている。		
			(外部評価) 法人内での異動があり、利用者に影響が出るようなこともあるが、職員のかかわりで利用者へのダメージを最小限に抑えておられる。		職員の入れ替わり等について、ご本人ご家族等に伝えていくような取り組みも期待される。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会は振り分け、法人内外いずれも参加している。また、研修の内容はスタッフ会で報告している。		
			(外部評価) 管理者は、職員の段階に応じた研修を受講できるよう推進しておられる。研修受講後に作成する記録は、全職員が確認するようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同法人内との交流はあるが、他の施設との交流がない。		サービスの質の向上に向け、地域の同業者と交流する機会を増やすよう心がける。
			(外部評価)		
			市内のグループホーム連絡会議で、施設長や管理者の方がサービスの向上について、他事業所と意見交換をされている。		今後は、グループホーム同士の研修会等を実施したいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員に対してのストレス軽減のケアが取り組めていない。		管理者より声掛けをしストレスケアを行う。雰囲気作りを行う。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			半年に1回の業務に関する自己評価を行い目標を立て、達成度や反省を行っている。運営者が十分に把握できているかはわからない。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用に至るまでの相談は管理者が行っているため、スタッフは話す機会がない。利用開始後はじっくり話を聞くよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者が行っている為、スタッフはあまり関わっていない。利用開始後はスタッフもコミュニケーションをとるよう心がけている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者が相談など受け対応を行っている。</p>		<p>本人・家族からの相談がある場合、その対応に努めていく。</p>
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族との相談は管理者が入居前にしている。事前に見学に来られることもある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人に事業所の生活の様子を見ていただき、管理者が家庭訪問する等、ゆっくりとお話を聴くようにされている。入居間もない間は、ご本人とのかかわりを多く持つようにされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>洗濯物たたみ、園芸などできる事を共に行いながら学んだり、支えあう関係が築かれている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、利用者の方が上手なきゅうりの作り方について職員にお話されていた。時に、利用者のご家族のお話をされ、職員はもらい泣きすることもある。</p>		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時、あまり会話をする事が少ない為、関係を築けていない面がある。		面会時、今まで以上に近況報告等、家族と会話をする時間をとるよう心がけに努める。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族とあまり会話ができていない為、支援にかけている。		面会時、今まで以上に近況報告等、家族と会話をする時間をとるよう心がけに努める。家族と会話をするよう心がける。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人との交流をされている姿があまり見られていないし、馴染みの場所に行けていない。		ホーム側から声掛けを行い、馴染みの人との交流を図って頂いたり、馴染みの場所を聞き出かけるよう努める。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者同士の関係が薄く、日々の生活の中でトラブルも多々見られ孤立される姿が見られる事がある。スタッフは仲介役として間に入る努力はしている。		屋外で過ごしたり、レクリエーションなど一緒に行いながら入居者同士の関係を深めていけるよう努める。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後、利用者・家族との関わりは途切れている。		契約終了後も立ち寄れる関係を作っていけるよう努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			入居者一人ひとりの希望は聞くよう努力しているが十分に把握できていない。		本人の希望をもっと聞き入れ支援に取り入れる。
			(外部評価)		
			現在、職員が利用者一人ひとりと、ゆっくりかわるような時間を作ることに、むつかしさがあるようである。		今後も、利用者のその人らしい暮らしを支援するためにも、ご本人の思いや意向の把握に努め、ケアに活かしていけることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時、サマリーや家族からの情報を通して、生活歴・趣味などの把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日々の観察や記録の見直し等を行い申し送りやスタッフ会で把握している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			月に一度のスタッフ会を行い、スタッフ間で問題を出し合い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			アセスメントシート、介護記録等やご家族からの意見も踏まえて、スタッフ会で検討し、作成しておられる。		さらに今後、ご家族の意見が十分に反映できるように取り組みをすすめていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				本人の変化に応じてスタッフ間で話し合いを行い計画を作成している。	
			(外部評価)		
					3か月に1回の見直しを行うようにされている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				毎月、個別記録を記入し、連絡ノートなどで情報を共有し、月1度スタッフ会を行い話し合い見直しに活かしている。	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				要望、状態に応じできる限りの対応はしている。	
			(外部評価)		
					車椅子対応のデイサービスの車を使用して、受診やご自宅を見に行く等されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 行事にボランティアの方を招いたり、中高校生の職場体験等があるが地域資源との協働が十分とはいえない。		ホームから声掛けし支援していただくよう努める。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特別、他のサービス利用の支援はしていない。希望があれば対応していきたいと考えている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 4月から地域密着型サービスとなったことで、より包括支援センターとの交流は増えたが個々の支援については、まだまだ情報交換は必要である。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医が訪問し受診しているが他の医療も受けられるよう支援している。 (外部評価) 協力医療機関や母体病院での受診や往診を受けておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 頻繁に主治医が往診に来られたり、母体病院の協力が得られている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 2週間に一度看護師が訪問し、日頃の様子を報告し、相談・アドバイスをもらったり健康チェックをもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ほとんどの入院が母体病院であるため、情報交換や連携がとれている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したり終末期になれば、母体の病院に受け入れる体制が取れていることは契約の時点で家族と話合っている。 (外部評価) 利用契約時に、重度化終末期の方針について、ご本人ご家族に対して説明をされている。必要時には母体病院に入院ができるようになっている。		さらに、ご本人ご家族の不安なことはないか、ということについても話し合う機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) スタッフに看護師がいないため、できることに限界があり、重度化や終末期になれば母体の病院に入院の受け入れを行ってもらっている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 別の居所へ移り住む際、ケア関係者間で情報交換は行っている。口頭で説明したりサマリーを作成している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人情報の取り扱いには気をつけている。言葉掛けや対応では見直すべきところがある。</p>		<p>プライバシーを考えながら、一人ひとりに言葉使いや利用者の対応をしていくよう心がける。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員の言葉かけや介助はやさしく行われ、利用者の笑顔がうかがえ、笑い声も聞こえてきた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>おやつ、衣類選びなど自己決定を大切にしているがスタッフに忙しく余裕のないときにはスタッフのペースになってしまう。</p>		<p>利用者の意思表示を根気よく待ち対応していく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員側の都合を優先してしまい、なかなか思うように希望にそった支援ができていない。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員側の都合を優先してしまい、なかなか思うように希望にそった支援ができていない。</p>		<p>一人ひとりの生活リズムや生活パターンを把握し優先していきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>ご本人の希望等に沿うような支援を心がけておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に1度、出張理容を利用し希望の髪型にしている。行事等には、口紅やマニキュアを塗る事もある。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 限られた入居者になってしまうが料理や台拭き、下膳など一緒に行っている。 (外部評価) お誕生日には利用者ご本人の希望するメニューでお祝いされている。調査訪問時、利用者の方が「職員さんの料理は、上手でおいしく、何時も全部食べている。」と話しておられた。		一人ひとり何かできる事を見直し職員と一緒に行うよう努める。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ、飲み物は皆一緒になりがちである。タバコ・酒は現在好まれる方がいない。		入居者より何が好きか聞き買い物に出かけ選んでいただくよう心がけに努める。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 失敗の多い方にはタイミングを見てトイレ誘導を行ったり尿意のある方は介助しトイレに座っていただき、できるだけトイレで排泄できるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			リフト浴があり、デイサービスの都合になってしまい希望の時間に入れなかったりと、なかなか希望とおりにはいかない時もある。それでも一人週3回は入浴されている。		時間・曜日など本人が希望されるときに入浴できるよう支援に努める。
			(外部評価)		
			現在は、午後に入浴を希望される方が多い。デイサービスの浴室は、窓から中庭が見えくつろげる。車椅子の利用者はリフト浴を利用されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望を尊重し、部屋で休んでいただいたり、ソファに座っていただいたりしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物たたみや料理などできる方にはして頂いている。また、カラオケが好きな方が多く気晴らしになっている。		
			(外部評価)		
			野菜の収穫・洗濯物干し・洗濯物たたみ・貼り絵・ちぎり絵・習字を楽しまれ、介護度重度の方は、テレビを観ることを楽しみにされている方もおられた。ふるさと美化運動に、参加可能な利用者とともに協力をされた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭の所持をしている方は数人のみで出かけてほしい物があればホームで立て替えるようにしている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			職員の人数が多い時には、散歩・買い物に行ったり戸外で過ごせるよう心がけている。しかし、車椅子利用者が多くなかなか出かけていない。		
			(外部評価)		
			現在は、利用者の身体的なこともあり、外出する機会は少ないようである。中庭に出て野菜や花の世話をされている。		今後、ボランティアの協力を得ながら、外出する機会を多く作っていきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			施設内全員での外出は行っているが個別の支援は積極的に行えていない。家族との出かける機会も少なめとなっている。		希望があれば行けるよう計画を立て積極的に支援する。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話をかけたい時には、いつでも気軽に使用できるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時、あまり会話をする事が少ない為、関係を築けていない面がある。入居者の部屋にてお茶を飲みながら過ごされている。帰られる際、見送りをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束をしないことは心がけている。しかし、本人の安全を考えた時拘束になっていることがある。		身体拘束にあたる行為を皆でもう一度見直し対応策について話し合う。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  居室、玄関は誰でも出入りできるよう鍵はかけていない。  (外部評価)  玄関・ウツデッキへの出入りは自由となっている。利用者の写真や個々の特徴等を記した書類を作成し、行方不明時等に活用できるようにされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  職員間で連携をとり、入居者一人ひとりの所在や様子を把握するよう努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  本人で管理できるものについては任せているが注意の必要な物に関しては職員のもとで預かっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  事故後、事故届け及びヒヤリハットを記入し対策を職員間で話合っている。研修、勉強会も行っているが知識不足の面が多々ある。		いつでも対応出来るように勉強会や研修に参加をし知識を増やしていくよう努める。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  誤嚥や転倒等よくある事故に備え、月1回看護師を中心に勉強会を行っている。		勉強会を継続し、知識習得や訓練を行うよう努める。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  年2回の避難訓練は行い、マニュアルもあるが地域の方の協力の呼び掛けは十分でない。  (外部評価)  火災を想定した避難訓練を行っておられる。連絡網等も整備されていた。避難場所は駐車場と定めておられた。		日頃から地域の人々との交流を増やしたり、かかわりを持つよう心がける。  運営推進会議時等に事業所での取り組みを伝え、地域の方達にもさらに協力をいただけるよう、働きかけたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価)  職員間のみで家族間では対応策を話し合っていない。		家族との関係を蜜に持ち、普段から何でも話せる雰囲気作りをする。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎日のバイタル、様子をファックスで主治医に報告している。異変時には電話で指示を頂き対応を行っている。申し送りや連絡ノートでスタッフが周知できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の作用、用法、用量については処方箋や薬の説明により把握している。しかし、副作用までは十分に把握しておらず、スタッフによって意識に違いがみられる。		日頃から注意深く服薬に目を向け確認を行う。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ラジオ体操を行ったり、食物繊維を摂取していただいたりし排便チェックを行い、申し送り、スタッフ会で話し合いや対策をとっている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、必ず口腔ケアを行っている。十分でない方は介助を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 持病のある方、水分摂取量、食事摂取量は日頃から気をつけている。  (外部評価) 食事制限のある方は、ご飯の量・調味料等に配慮されている。居室にペットボトルでお茶を用意されていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作っており、流行時マニュアルとおりの予防や対応を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、ふきん等必ず毎日消毒を行い食中毒予防に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関に花鉢を置いたり、季節感の味わえる壁画を飾ったりと出入りしやすい雰囲気作りをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾ったり臭いの気になる所には消臭剤を置いたり、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関・居間には、あじさいの張り絵が飾られ、テーブルには生花が生けられ、めだかを飼育している。廊下・居間にはソファ、長椅子が設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂、玄関、廊下と椅子、ソファを置き気のあった入居者同士で過ごせる空間は作っている。しかし、車椅子使用者が多く一人になれる場所は居室が主になっている。</p>		<p>家具の配置など思い思いに過ごせる居場所の工夫に勤める。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価)  家族へ部屋は自由に使い慣れたものを持ち込んで利用 してもらおう話しているが、個々によって差がみら れる。自分の部屋らしくなっている方もいれば寝るだ けの部屋になっている方もいる。  (外部評価)  ご家族の写真・テレビ・机・冷蔵庫等が持ち込まれて いる。居室にお好きなものが、たくさんある方もうか がえた。		本人が住みなれた環境に近づけるよう本人が使用して いた生活用品等を持ってきていただくよう家族に声か けを行う。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)  毎日、環境整備時、換気を行ったりエアコンの調節に も気をつけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)  3月に改修工事で車椅子の使用がしやすいように協働 スペースが広がっている。		トイレ、浴室の手すりの設置について法人と検討中 である。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)  洗濯物たたみやぬり絵など、できる事はして頂き、で きない事はスタッフと共に行うよう工夫したり支援し ている。		
87		建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)  庭で利用者と共に野菜・花を育てている。テラスでは 洗濯物を干したり、日向ぼっこをしたり食事をするこ ともある。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	日頃から利用者にはスタッフの思いを強制した言葉かけや行動をしないように心掛けている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時の水分補給の時には利用者とスタッフがテーブルを囲みゆったりとした時間を過ごしコミュニケーションをとっている。毎週日曜日の昼食はいつもより長く座り利用者の楽しみののだ自慢番組を共に鑑賞している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日中、共同スペースでテレビを見られたり、自室で自分の時間を過ごしたりそれぞれのペースで生活できていると思う。 意思疎通困難な方は常に声掛けし希望を聞き入れるようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のラジオ体操をみんなで رفتたり、時々レクリエーションなどで手足を伸び伸びと動かしている。花の水遣りや菜園の成長などを見るのが楽しみの方など利用者の生き生きとした表情を把握している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子の方が多く、全員同時に出掛けることは困難で戸外への活動的な支援は十分にはできていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	週2、3回の主治医の往診や2週間に1度の看護師訪問などで随時、利用者の健康チェックができています。特変があると、時間を問わず主治医に報告し指示をもらっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の中には、帰宅願望の訴えのある人がおり、その時は気持ちが混乱しないような声掛けをし安心していただけるよう支援している。ここが一番いいと言われる利用者もおられる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の面会時を大切に、利用者の近況報告等を伝え、相談や問題点などでた場合はスタッフ間で話し合いを持っている。その結果を家族に報告する。信頼関係はだいたいとれている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ほとんどない 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに	ホームに来所される方は、ほぼ利用者の家族だけとなってしまっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	運営推進会議でボランティア訪問の提案をいただき、実行したものの回数的に乏しく地域住民や地元関係者にホームの内容的なことはまだまだ十分に理解してもらえていない。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務の流れがスムーズにいかず、ストレスの大小は見られるがスタッフ間のチームワークはとれており、明るく笑い声のよく聞こえる雰囲気の中で働いているように思われる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の思いを訴えられる方、また意思表示されない方、それぞれスタッフは常に優しく声掛けし傷つけることのないように接する心がけをしている。利用者からの不満の声はあまり聞かれない。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	月1回のホーム新聞発行を通して、利用者の生活パターンやホーム内外での様子を報告出来ている。面会時にコミュニケーションをとり信頼関係を作るよう心掛けている。ホームに対しての不満、苦情、抗議などの声は聞かれていない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

月1回の新聞発行でホーム内外での利用者の様子を比較的詳しく伝えることが出来ている。  
 中庭での花の観賞や菜園での野菜を食事に取り入れることなどで季節感を利用者とスタッフ全員で楽しめることが出来ている。  
 広く、明るい共同スペースで、利用者がそれぞれに日々ゆったりと過ごしている。  
 中庭に植えていただいたブルーベリーの木が実をつけると収穫し、全員で賞味されている。  
 頻繁に主治医が往診に来られ、状態に応じて母体の病院の協力が得られている。